

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	187,042	182,224
固定資産	130,625	120,640
<b>① 資産合計</b>	<b>317,668</b>	<b>302,865</b>
流動負債	70,475	72,382
固定負債	21,320	20,724
<b>② 負債合計</b>	<b>91,796</b>	<b>93,107</b>
<b>③ 純資産合計</b>	<b>225,872</b>	<b>209,758</b>
負債純資産合計	317,668	302,865

### 四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
<b>④ 売上高</b>	<b>144,422</b>	<b>125,640</b>
売上総利益	33,809	33,147
販売費及び 一般管理費	24,032	21,418
<b>⑤ 営業利益</b>	<b>9,776</b>	<b>11,729</b>
経常利益	12,127	12,255
税金等調整前 四半期純利益	12,114	12,546
<b>⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>8,791</b>	<b>8,815</b>
四半期包括利益	23,020	13,615

## ■ ポイント！

### ① 資産合計

自己株式の取得などにより「現金及び預金」が減少しましたが、米国での事業買収や調達コストの上昇により「棚卸資産」が大幅に増加したほか、成長分野への積極投資による「有形固定資産」の増加などにより、総資産は148億3百万円増加しました。

### ② 負債合計

「未払法人税等」の減少などにより、負債は13億11百万円減少しました。

### ③ 純資産合計

自己株式の取得による減少がありましたが、円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は161億14百万円増加しました。

### ④ 売上高

米国での事業買収の効果などで印刷・情報材事業部門が大幅に増加したことなどにより、売上高は187億81百万円増加しました。

### ⑤ 営業利益

円安による増益効果はありましたが、原燃料価格や物流コスト上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は19億52百万円減少しました。

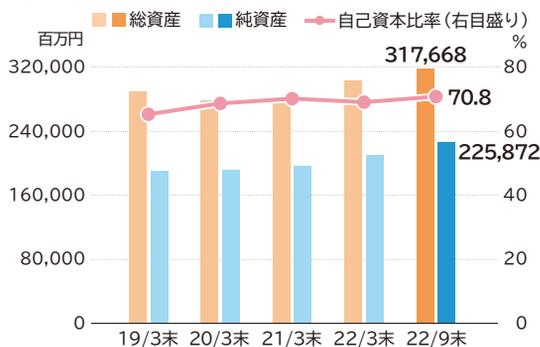
### ⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益は減少しましたが、円安の進行により為替差益が大幅に増加したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円の減少にとどまりました。

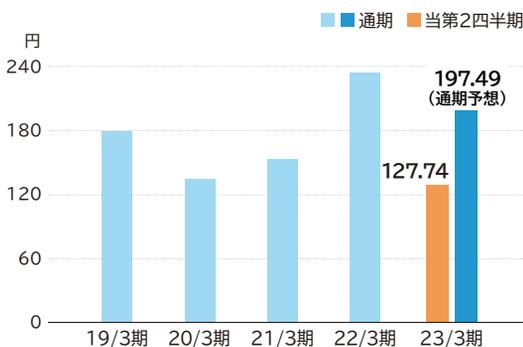
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	2,924	15,226
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,121	△7,331
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,482	△3,996
現金及び現金同等物の 四半期末残高	43,041	63,185

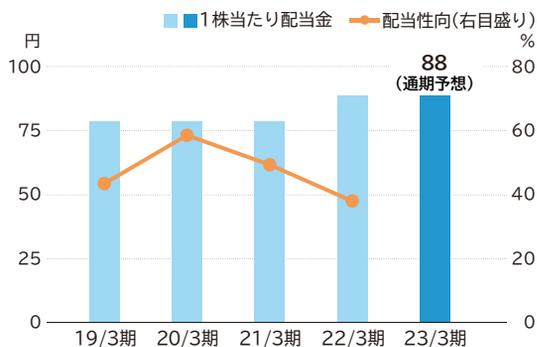
## 総資産・純資産・自己資本比率



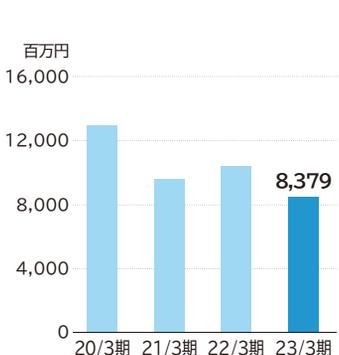
## 1株当たり四半期(当期)純利益



## 1株当たり配当金・配当性向



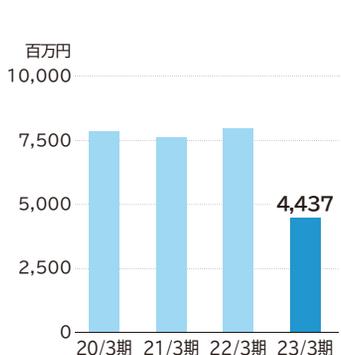
## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



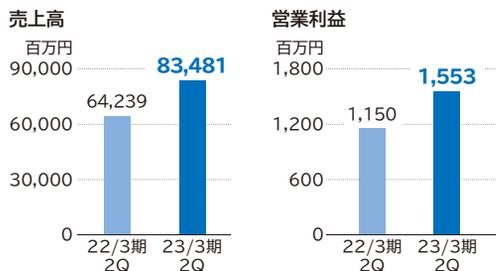
## 研究開発費



## 印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **834億81** 百万円 (30.0%増)

営業利益 **15億53** 百万円 (35.0%増)



## 印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **674億36** 百万円 (38.6%増)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



## 産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **160億45** 百万円 (2.9%増)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が国内では食品や飲料キャンペーン用などの需要は低調だったものの、各種環境配慮製品の新規採用が進んだほか、宅配・物流関連の需要が増加したことなどにより堅調に推移しました。海外では米国における買収効果もあり、大きく伸長しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車の減産影響を受けて自動車用粘着製品の需要が低調でしたが、海外ではアセアン地域を中心にウィンドーフィルムや自動車用粘着製品などが堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流コストが上昇したものの、米国子会社の損益が大幅に改善したこともあり、前年同期に比べ増加しました。

## 電子・光学関連 (前年同期比)

売上高 **441億92**百万円 (1.1%減)

営業利益 **87億47**百万円 (8.3%減)

### 売上高



### 営業利益

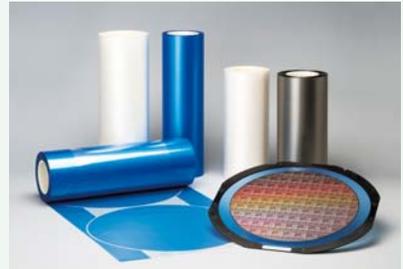


## アドバンストマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **335億53**百万円 (2.0%増)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



## オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **106億39**百万円 (9.6%減)

### 主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



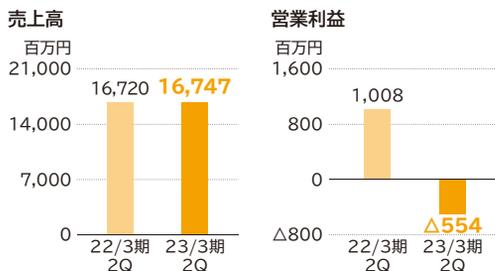
## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアルズ事業部門は積層セラミックコンデンサ関連テープがスマートフォン用などの需要低迷により低調に推移しましたが、半導体関連粘着テープや関連装置は堅調に推移しました。
- オプティカル材事業部門は車載用タッチパネル関連製品が伸長したものの、光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビやスマートフォン用などの需要低迷の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益は単体での生産設備の操業度低下の影響を受けたことなどもあり、前年同期に比べ減少しました。

## 洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **167億47百万円** (0.2%増)

営業利益 **△5億54百万円** (－)



### 洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **78億59百万円** (4.1%増)

#### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



### 加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **88億88百万円** (3.1%減)

#### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門はカラー封筒用紙が前年同期並みとなったほか、耐油耐水紙がテイクアウト需要の増加などにより堅調に推移しました。
- 加工材事業部門はスポーツ・レジャー用品向けの炭素繊維複合材料用工程紙が堅調に推移しましたが、電子材料用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムが需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格上昇などの影響を大きく受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

# 株式情報 (2022年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,359,137株
単元株式数	100株
株主数	7,580人

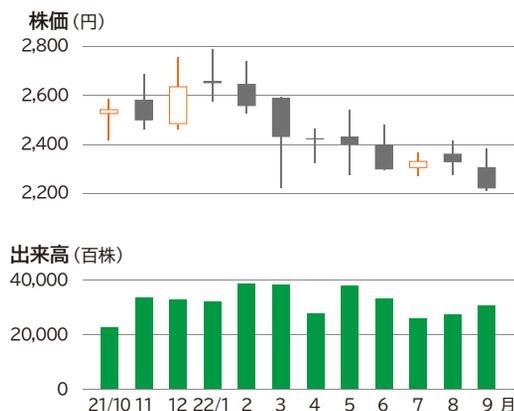
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,038	10.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,893	5.69
全国共済農業協同組合連合会	2,522	3.68
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,181	1.72
株式会社かんぼ生命保険	1,180	1.72
塩飽 恵以子	1,043	1.52
BBH FOR UMB BK, NATL ASSOCIATION-GLOBAL ALPHA INTL SMALL CAP FUND LP	880	1.28
塩飽 一誉子	803	1.17

注1. 当社は自己株式8,329,603株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2021年10月~2022年9月)



## IRメール配信サービスのお知らせ

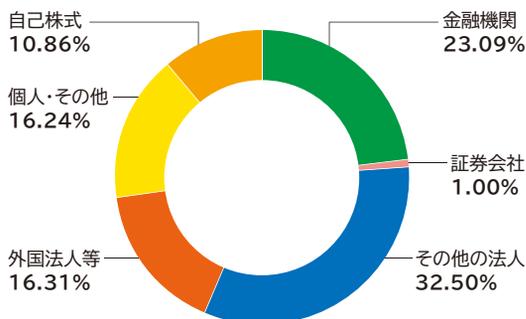
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

[www.lintec.co.jp/ir/ir\\_mail](http://www.lintec.co.jp/ir/ir_mail)

## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2022年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社設立	東京都板橋区本町23-23 1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,158人 単体: 2,628人 (2022年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に伴う書面交付請求に関するご案内	会社法改正に伴い、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。引き続き書面での交付をご希望の場合は、2023年3月31日までにお手続きが終わるよう株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお早めにお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	<a href="http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html">www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html</a>



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

発行 広報・IR室 2022年12月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。